

オリーブの会通信

2011年10月5日

発行：特定非営利活動法人KHJ香川県オリーブの会
〒760-0078 高松市今里町一丁目 499-2
連絡先 TEL/FAX 087-843-9877 (川井)
<http://khj-olive.com/>



第112回月例会ご案内

日 時	2011年10月23日(日) 13:00~受付 13:30~16:30
場 所	香川県社会福祉総合センター 6階 研修室 高松市番町1-10-35 Tel 087-835-3334
内 容	13:30~ 開会 13:30~13:40 : 報告・連絡(川井) 13:40~14:45 一部 体験談 テーマ : <u>神経症やひきこもりについて</u> NPO法人グローバル・シップスこうべ 代表 森下 徹 氏 他1名 休 憩 15:00~16:30 体験談(強迫症状)から考える 二部 : グループに分かれての 「親の学習会」
参 加 費	・会員 1家族 1000円 ・非会員 1家族 1500円

朝夕はめっきり涼しくなりましたが会員の皆様にはお元気でお過ごしのことと存じます。さて、当オリーブの会では、8月末に池田代表らをお迎えして開かれました親の学習会を踏まえ、9月の例会では積極的な意見交換が行われました。今後ともこのような学習会は、池田佳世代表からお話しのありました、「親が必死になり、将来、生きていて良かったと思えるように勉強して欲しい」との思いを胸に、継続して行うこととしております。どうぞ皆様方の更なるご協力をよろしくお願い申し上げます。

【9月例会（9/25）の報告】（概略）

月例会参加者数 23 家族（27名）

1 「親の学習会」 準備研修会参加者の感想

「親の学習会」準備研修会は、8月29・30日の両日、香川県高松合同庁舎(4階会議室)においてKHJの池田代表らをお迎えして開催されました。その学習会に参加された方々に、感想を述べていただきました。

- 学集会は良かった。Tさんの助言が的確であった。
- 的確なアドバイスをいただけたのが良かった。
- 心に響く話し方であった。子供が自分の人生を歩んでいないという助言がぴったりであった。親はもっと柔軟な考えを持って子供に寄り添うことの大切さを知ることが出来た。
- 新鮮な感覚がした。仮想の筋立てによる考え方もあることを知った。Tさんのアドバイスが良かった。
- シーツで子供の気持ちを感じ、フラダンスで親の輪の大切さを知ることが出来た。ロールプレーで子供の話に耳を傾け真剣に対応することが大事であると思った。
- 子供は自分の人生とっていない。親の方を向いている。新鮮なお話が多かった。
- 代表の若さに感動した。
- 親が変わらないと子供は変わらない。自分が変わるチャンスにしたい。引きこもっている息子の精神状態を知りたかった。Tさんのアドバイスが的確で子供の人格、自我形成がなされていないのではないかと思いが当たった。これまでに何回かチャンスはあったのを逃してしまったのではないか。すべてをこれからのステップの一つとして受け入れなければならない。
- 皆さんが厳しい状況の中で子供と寄り添っている姿勢に感動した。白布一枚被っただけで感じられることを知った。親の敷いたレールを子供に歩ませることは避けたいと思った。
- 自分の人生を自分の人生としてスタートさせねばと思った。
- 自分の人生がわからない、どう生きていいのかわからない、何をしたらいいのかわからないという子供には、引きこもっている間にレベルアップしなさいと言われたことには、ショックの一言であった。

- ロールプレーも新鮮であった。
- 自分だけが辛いと思っていたが自分だけでないことがわかった。子供のために自分が成長したいと思った。
- Tさんのゆったりした一言一言が胸に迫ってきた。一日だけだったのが残念であった。



2 親の学習会

◎ テーマ 「今までに親が相談してきた先」

今回は、二つのグループに分かれ、テーマをレジュメに沿った意見交換が行われました。

レジュメでは、

- ① はじめに相談した先
- ② 相談先を変えた理由
- ③ そのとき親はどんなことを感じたか
- ④ 良かったと思う相談先、良くなかったと思う相談先
- ⑤ 相談先を探すときのポイントは
- ⑥ どのような相談先を望むか
- ⑦ 講師への質問など

が示されました。

多くの貴重な意見が出されましたが、その内容の一部を記載させていただきました。

- ① はじめに相談した先 : 次の10ヵ所の相談先が挙げられました。
- 香川県精神保健福祉センター ○ スクールカウンセラー
 - 精神科医 ○ 県教育センター ○ 心療内科医 ○ 少年育成センター
 - 県出先保健所 ○ かがわサポステ ○ KHJつばめの会
 - KHJオリーブの会

※ ただ、相談先は、「子ども・若者育成支援推進法」が施行される数年前のものも含まれています。

- ② 相談先を変えた理由 : 親が期待していたような相談先ではなかった。例えば本人が来ないので診られない、治らないと言われたことなど。
- ③ そのとき親はどんなことを感じたか : 引きこもりのことは何もわかっていない、何も信じられないと思った。相談先を変えたあとは 同じ境遇の人とお話が出来たので癒されたなど。

- ④ 良かったと思う相談先、良くなかったと思う相談先 : 良かったと思う相談先は、親自身の話をよく聴いてくれた、また引きこもりをよく理解していてアドバイスが適切であった相談先などが挙げられた。
良くなかったと思う相談先は、相談しても役に立たなかったり、引きこもりをよく理解していない、アドバイスがなかった相談先などが挙げられた。
- ⑤ 相談先を探すときのポイント : カウンセラーは一人に絞ること、受診時に言うことが一貫していること、適切なアドバイスをしてもらえること、話を十分に聴いてくれることなど。
- ⑥ どのような相談先を望むか : 引きこもりに理解を示し、じっくり話を聴いて適切なアドバイスをしていただけたところ、継続的に治療やカウンセリングをしていただけたところなど。また外に出られない子供に、相談窓口から根気よく訪問をしていただけたような体制作りができればと望む。
- ⑦ 講師への質問など : 自分の人生が自分のものでないのを取り戻すには、どうすればいいか。

以上

【ひきこもり対策研修会（思春期精神保健研修会）のおしらせ】

日時	2011年11月5日（土）開場：12：45 開演：13：30～15：40
場所	香川県社会福祉総合センター 1階 コミュニティホール 高松市番町1-10-35 Tel 087-835-3334
講師	精神科医 斎藤 環 先生
講演 テーマ	ひきこもりの心と向き合うために —支援者、家族ができること—
参加申込要	FAX 087-835-5474 締切 10月31日（月）
参加費	無 料
主催	香川県精神保健福祉センター
連絡先	香川県ひきこもり地域支援センター Tel 087-804-5566

【助成金について】

9月27日（火）四国労働金庫様の2011年度後期香川地区社会貢献活動「助成金」の目録贈呈式に出席、対象事業は「ひきこもり講演会」の開催です。2008年度にもいただきましたので2度目になります。四国労働金庫様には厚くお礼申し上げます。

【本部年会費について】

9月例会に参加された方につきましては、すでにご寄付いただき有難うございました。また、参加されなかった方には今月の案内状と共に払込票も併せて送付させていただきました。当会の年会費未納の方は払込合計金額4千円となります。月例会時でも結構です。



【お遍路さんのお土産作りの状況】

◇会員の息子さん、娘さんが隠れた能力を発揮してくれていることは、前回お知らせいたしました。根気強く続けられていることも自信に繋がっていくのではないのでしょうか。絵手紙作成に協力いただける方はご連絡ください。

【10月 居場所活動予定】

内 容	日	曜日	時 間	担 当
第6回運営委員会	2	日	13:30～	川井
個人カウンセリング（松田先生）	8	土	9:00～	川井
ポパイの会 パソコン教室 （オークション出品の説明他）	9	日	13:30～	森下
※11月のパソコン教室は年賀状作成です。数種類のデザイン（裏面のみ）から選んでいただきます。（注文受付については11月案内状に掲載予定です。）若者のご支援よろしく申し上げます。				森下

【親の学習会】

日 時	2011年10月11日（火）13:00～受付 13:30～16:30
場 所	香川県高松合同庁舎 6階 第3会議室 高松市松島町1丁目17-28
内 容	「無条件に肯定的に聴く」ということ 松田 勝氏
連 絡 先	参加申込は090-4332-3288（川井）まで お願いします。

次回【113回 月例会予定】

日 時	2011年11月27日（日）13:00～受付 13:30～16:30
場 所	香川県社会福祉総合センター 6階 研修室
内 容	「トラブルには意味がある」 浅田 みちる氏
担 当 G	Aグループ

